



日本水産学会創立 85 周年記念事業

協賛案内

公益社団法人 日本水産学会

日本水産学会創立85周年

謹啓

貴台におかれましては時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より公益社団法人日本水産学会の活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本水産学会は昭和7年（1932年）2月27日に、水産の学理と技術に関する諸業績を網羅収録した雑誌の刊行ならびに学術研究の発表と批判・指導の場の重要性を鑑みて設立されました。本学会は平成29年（2017年）に創立85周年を迎えることとなります。

そこで、本学会は平成26年度第5回理事会において平成29年に創立85周年記念事業を行うべく、記念事業委員会（特別委員会）を立ち上げました。また、この記念事業委員会のもとに、国際シンポジウム実行委員会、資料編纂委員会、研究の動向編集委員会、デジタル版水産学用語辞典編集委員会、記念式典実行委員会などを設置しました。創立85周年記念事業においても創立70周年記念事業にほぼ倣い、研究の動向編集委員会や資料編纂委員会で、公益法人化や大震災復興支援などに携わった激動期を含む創立70周年記念事業後の15年間の水産学の発展と本学会の歴史を取りまとめます。また、国際シンポジウムでは「Fisheries Science for Future Generations」（次世代に向けた水産学）をテーマに、国内外で1400名程度の参加者を計画し、特に大学院生を含む若手の研究者の参加を積極的に推し進めます。また、海外からの水産関係の著名研究者の招待講演も計画しており、今後のわが国の水産学の将来を担う人材の育成に邁進する予定です。

創立85周年記念式典は平成29年9月21日（木）に東京大学伊藤国際学術センターで、国際シンポジウムは同年9月22日（金）～24日（日）に東京海洋大学で開催する予定にしております。本来であれば、国際シンポジウム開催に必要な費用は参加登録費で賄うべきところですが、国内はもとより海外からの若手の参加を促すために参加費を国内大会並みに抑える予定にしており、負担できる範囲には限度があります。この国際シンポジウムを含む創立85周年記念事業を成功させるためには、多額の資金を必要とすることとなりますので、会員並びに関連業界の諸企業、諸団体からのご援助に頼らざるを得ないのが現状です。

つきましては、景気が持ち直しているといわれているものの、その動向がなかなか定まらないなかで誠に心苦しく存じますが、何卒、本事業の趣旨に深いご理解とご賛同を賜り、格別のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

謹白

平成28年6月吉日

公益社団法人日本水産学会会長 塚本勝巳
日本水産学会創立85周年記念事業委員会委員長 渡部終五
同委員会募金（財務）委員会委員長 青海忠久
同委員会国際シンポジウム実行委員会委員長 佐藤秀一

日本水産学会創立 85 周年記念事業の概要

1. 国際シンポジウム

シンポジウムのテーマ: Fisheries Science for Future Generations (次世代に向けた水産学)

主催: 公益社団法人日本水産学会

後援: 漁業経済学会、国際漁業学会、水産海洋学会、日本水産増殖学会、地域漁業学会、日仏海洋学会、日本沿岸域学会、日本海洋学会、日本魚病学会、日本魚類学会、日本水産工学会、日本藻類学会、日本付着生物学会、日本プランクトン学会、日本ベントス学会、マリンバイオテクノロジー学会、アメリカ水産学会、イギリス諸島水産学会、韓国水産科学会、中国水産学会、世界水産学協議会、アジア水産学会 (一部予定)

開催時期: 平成 29 年 9 月 22 日 (金) ~ 24 日 (日)

開催場所: 東京海洋大学品川キャンパス (〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7)

開催趣旨: 経済発展に伴って生活水準が向上した国々では、国民の多くは良質のタンパク質を求める傾向にあります。さらに、健康志向の高まりも加わり、魚介類の需要が世界規模で急速に増えており、一部では、水産物の国際的な争奪戦も激化しています。一方、国内に目を転じると漁業従事者の平均年齢が年々上昇し、国内での漁業生産がいずれ衰退することも懸念されています。このように水産業を取り巻くグローバル化と地域経済の問題が現在、大きくクローズアップされつつあります。人類が繁栄と調和を保ちながら、水産資源を管理し、適正に分配するためには、産官学の当事者が集い、叢智を結集することが求められています。そこで公益社団法人日本水産学会では創立 85 周年を記念して平成 29 年 9 月にこれらの諸問題を解決する糸口を見出すために、国際シンポジウム「次世代に向けた水産学」を東京海洋大学品川キャンパスで開催することにいたしました。とくにこの記念シンポジウムでは、参加費をできるだけ安くして多数の若手の参加を促し将来の水産学のあるべき姿を議論することも大きな目的の一つにしています。

主要題目:

1. Wisdom for Recovery from Colossal Multiple Disaster for Great East Japan Earthquake, Tsunami and Nuclear Power Plant Accident (東日本大震災、大津波および原発事故からの復興)
2. Fisheries and Fish Biology (漁業および資源生物学)
3. Biodiversity and Management (生物多様性および管理)
4. Freshwater, Coastal and Marine Environments (淡水、沿岸および海洋の環境)
5. Material Cycling in Aquatic Ecosystems (水圏生態系における物質循環)

6. Biology of Aquatic Organisms (水生生物の生物学)
7. Aquaculture (増養殖)
8. Biotechnology (生物工学)
9. Biochemistry and Metabolism (生化学および代謝)
10. Post Harvest Science and Technology (ポストハーベスト・利用加工技術)
11. Safety of Fisheries Products (水産物の安全性)
12. Marine Natural Products Chemistry (海洋天然物化学)
13. Fisheries Economics and Social Science (水産経済学および社会科学)
14. Education and International Cooperation (教育と国際協力)

参加予定者：1400名

2. その他の事業

水産学における研究の動向の編集

デジタル版水産学用語辞典の刊行

創立 85 周年記念式典

平成 29 年 9 月 21 日、東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール
(東京都文京区本郷 7-3-1)

創立 85 周年記念事業委員会

| | |
|----------------------|------------|
| 委員長 | 渡部終五 |
| 副委員長 | 古谷 研, 青海忠久 |
| 国際シンポジウム実行委員会委員長 | 佐藤秀一 |
| プログラム委員会委員長 | 杉田治男 |
| 研究の動向編集委員会委員長 | 古谷 研 |
| 資料編纂委員会委員長 | 東海 正 |
| デジタル版水産学用語辞典編集委員会委員長 | 金子豊二 |
| 記念式典実行委員会委員長 | 青海忠久 |
| 募金(財務)委員会委員長 | 青海忠久 |

事務局 公益社団法人日本水産学会

創立 85 周年記念事業 事務局長 舞田正志

〒108-8477 東京都港区港南 4 丁目 5 番 7 号 東京海洋大学内

電話：03-5463-0554 FAX：03-3471-2054

E-mail：85th-jsfs@jsfs.jp

Webpage: <https://www.gakkai-web.net/gakkai/jsfs/memorial/index.html>

日本水産学会創立 85 周年記念事業 各種協賛案内

創立85周年記念式典は平成29年9月21日(木)に東京大学伊藤国際学術センターで、国際シンポジウムを同年9月22日(金)～24日(日)に東京海洋大学で開催する予定にしております。本来であれば、国際シンポジウム開催に必要な費用は参加登録費で賄うべきところですが、国内はもとより海外からの若手の参加を促すために参加費を国内大会並みに抑える予定にしており、負担できる範囲には限度があります。この国際シンポジウムを含む創立85周年記念事業を成功させるためには、多額の資金を必要とすることになりますので、関連業界の諸企業、諸団体からのご援助に頼らざるを得ないのが現状です。

つきましては、本事業の趣旨にご理解とご賛同を賜り、次のような各種協賛（スポンサー）として本事業に格別のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

なお、個人的なご寄付の方法もございますので、その節は「お問い合わせ先」の担当者宛ご連絡をいただければ幸いに存じます。また、別途、協賛展示も企画しておりますので、ご希望の折にはご連絡下さいますようお願いいたします。

1. スポンサー

- ダイヤモンドスポンサー（¥500,000 以上）
 - ・ 国際シンポジウム要旨集に貴社名・貴団体名を記載。
 - ・ 国際シンポジウム参加者に配布するバッグに貴社・貴団体ロゴマークを記載。
 - ・ 記念式典に特別参加者として 3 名ご招待。
- プラチナスポンサー（¥200,000 以上）
 - ・ 国際シンポジウム要旨集に貴社名・貴団体名を記載。
 - ・ 国際シンポジウム参加者に配布するバッグに貴社・貴団体ロゴマークを記載。
 - ・ 記念式典に特別参加者として 1 名ご招待。
- ゴールドスポンサー（¥100,000 以上）
 - ・ 国際シンポジウム要旨集に貴社名・貴団体名を記載。
 - ・ 国際シンポジウム参加者に配布するバッグに貴社・貴団体ロゴマークを記載。
- シルバースポンサー（¥50,000 以上）
 - ・ 国際シンポジウム要旨集に貴社名・貴団体名を記載。
- ブロンズスポンサー（¥20,000 以上）
 - ・ 国際シンポジウム要旨集等への貴社名・貴団体名の記載はありません。

2. 広告

- ・ URL 広告：ご希望の協賛者には日本水産学会創立 85 周年記念事業のサイトより貴社・貴団体ホームページのリンクをお貼りします。
- ・ 国際シンポジウム要旨集掲載広告：参加者へ配布する要旨集に広告を掲載します。
(¥150,000 / 1 ページ、¥100,000 / 半ページ)

3. 協賛金の使途

日本水産学会創立85周年記念事業（国際シンポジウム、資料集の編纂および刊行、研究の動向の編集および刊行、デジタル版水産学用語辞典の編集および刊行、記念式典・レセプションなど）の経費に充当します。

4. 申込みおよび払込み期間

申込み：平成28年7月1日～平成29年8月31日まで

払込み：平成28年7月1日～平成29年8月31日まで

5. 協賛申込み先

担当 募金委員会 幹事 佐野元彦

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学水族病理学研究室内

TEL: 03-5463-0554 FAX: 03-3471-2054 E-mail: 85th-jsfs@jsfs.jp

6. 協賛申込み方法

別紙の「協賛申込書」（様式第6号）にご記入の上、上記の5の担当宛、郵送、FAXまたはメールにてお送りください。「協賛申込書」を確認後、「協賛申込み受理書」を送付させていただきます。

7. 協賛金払い込み方法

「協賛申込み受理書」を受理後に次の口座へお振り込みください。

大東京信用組合（品川駅東口支店 店番001） 口座番号 普通4617722

口座名 日本水産学会 85周年記念 募金委員長 青海忠久

（ニホンスイサンガッカイ ハチジュウゴシュウネンキネン ボキンイインチヨウ セイカイタダヒサ）

税法上の取り扱い

この協賛金は、公益社団法人である日本水産学会への寄付金として、税法上一定の優遇措置が講じられます。

8. その他

国際シンポジウムは、国内外の水産学研究者・水産業関係者が集まる貴重な機会です。何かご提案等ございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

「お問い合わせ先」

担当 募金委員会 幹事 佐野元彦

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学水族病理学研究室内

TEL: 03-5463-0554 E-mail: 85th-jsfs@jsfs.jp

(様式第 6 号)

協賛申込書

平成 年 月 日

公益社団法人 日本水産学会 創立85周年記念事業委員会
募金委員会委員長 青海 忠久 殿

ご 名 称

ご 住 所 〒

代表者名

印

日本水産学会創立85周年記念事業に賛同し、下記のように協賛します。

記

- 1 協賛の種類
1. ダイヤモンドスポンサー (¥500,000 以上)
 2. プラチナスポンサー (¥200,000 以上)
 3. ゴールドスポンサー (¥100,000 以上)
 4. シルバースポンサー (¥ 50,000 以上)
 5. ブロンズスポンサー (¥ 20,000 以上)
 6. 要旨集掲載広告 (¥150,000/1 ページ、¥100,000/半ページ)
 7. その他：_____

要旨集・配付バックへの社名・団体名の記載を希望しない

2 協 賛 額 _____円也

3 協賛金の振込み予定日 平成 年 月 日

【備考/連絡先】

ご担当者氏名・所属・役職

E-mail :

TEL :

本申込書に記載された情報については、日本水産学会創立 85 周年記念事業業務にのみ使用される旨を本紙の提出をもって同意します。